

つくって使おうロケットストーブ

OVERVIEW / 概要

ロケットストーブづくり（希望者）、小枝を燃料に調達し、対話しながら食事する。エネルギー、防災、山のこと、便利さと引き替えに失ったものについて考える。キーワードは「おいしく楽しく心地いい暮らし」

対象者・参考教科

小学校4～6年

大人

中高生

参考教科等：---



Photo

Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

ロケットストーブの構造や特徴について紹介。ロケットストーブを使い、講座を行うに至った経緯を説明し、便利なだけの道具でないことを解説。

● STEP 02. 発展

ストーブを作る。自ら手を動かすことで、ものづくりの面白さ楽しさ、難しさや工夫などを知る。火の焚き方を学びながら調理する。皆で食事しながらおいしく楽しい体験をする。最後に火の消し方を学ぶ。

● STEP 03. まとめ

身近な材料と少し手を動かすことでロケットストーブという道具が作られ、身近にある小枝少しで暖かくおいしいものが食べられる。電気もガスも石油も使わず、ほとんど煙たくもなく自らの手で作り出した心地よさを体験。持ち帰って使うことで、山の見え方が変わるなどの気づきを得る。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所

野外活動

所要時間

240分

対応人数

10人程度

準備物等

手袋、食材（依頼者が用意する場合）

NOTES / 備考

ロケットストーブの作成は6台まで。見学のみ可。

材料費：1台当たり1万円。

食材または材料費：実費。

天気と気候と防災のはなし

OVERVIEW / 概要

わたしたちの暮らしと切っても切れない天気。その天気が昔と変わってしまった気候変動。極端現象が増えて防災の重要性も増している。講座では、依頼者の視点に合わせてこれらの詳細について解説。暮らしに活かす方法を提案する。

対象者・参考教科

小学校4～6年

大人

中高生

参考教科等：---



Photo

Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

空のこと、気象現象のこと、天気予報のこと、気候のこと、気候変動のこと、防災についてなど、基本的なことを解説。

● STEP 02. 発展

依頼者の関心のある事柄について深掘りする。日々の暮らしとの関係、情報の扱い、何をすればどうすればよいのかを考える。

● STEP 03. まとめ

より快適に、楽しく、安全に暮らす方法、考え方を提案する。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)
所要時間	90分
対応人数	50人程度
準備物等	プロジェクター、スクリーンまたは大型モニター

NOTES / 備考

地球温暖化を「知る」から「動く」 へ 実験と対話で学ぶ環境学習

OVERVIEW / 概要

地球温暖化の仕組み・現状・将来予測と、私たちにできる対策を、講話と実験・体験を通して学ぶ参加型プログラムです。雲生成実験や再生可能エネルギー体験、海洋酸性化の可視化などを取り入れ、子どもから大人まで「知る」から「行動する」へとつながります。

対象者・参考教科

小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：---



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

地球温暖化の現状と背景を、クイズや対話を交えて楽しく導入します。異常気象や最新ニュースを題材に、「なぜ今、温暖化なのか」を参加者と共有し、問題意識を高めます。

● STEP 02. 発展

◇講話と実験を通して、地球温暖化の仕組みや現状、将来予測を分かりやすく学びます。◇雲生成実験や再生可能エネルギー体験、海洋酸性化の可視化で理解を深めます。◇学びを振り返り、日常生活でできる行動へとつながります。

● STEP 03. まとめ

学びを振り返りながら意見交換を行い、節電やエコ活動など「今日からできる行動」を考え、実践につなげます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)、リモート(Web等)
所要時間	60分
対応人数	30人程度
準備物等	大型モニター (または、スクリーン・プロジェクター)

NOTES / 備考

※内容・資料は対象（子ども、大人）に応じて調整可能です。
温暖化が進む未来を見据え、今できることを一緒に考えてみませんか。

地球温暖化の現状から私たちの省エネ行動について考える

OVERVIEW / 概要

地球温暖化のメカニズムと現状（CO2やフロン等）を確認し、私たちが日常生活で行うべき省エネ活動について考えます。
宮城県内の事例があればできるだけ活用します。
SDGsと私たちがやるべきことの一緒に考えます。

対象者・参考教科

小学校1～3年 小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：---



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

地球温暖化とは何か、進行状況、発生している現象について、写真やグラフを使って理解を深め、課題を明確にします。

● STEP 02. 発展

日本、宮城県、家庭の取組事例等を紹介し、改善活動へのヒントにつなげます。

● STEP 03. まとめ

自分たちが今できる改善事例を考え、今後の行動につなげます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)、リモート(Web等)
所要時間	45分程度
対応人数	制限なし
準備物等	パソコン、スクリーン、プロジェクター又はテレビ、マイクセット等

NOTES / 備考

- ・対象年齢に応じて、講義資料を作成します。
- ・事前に学校で内容について打ち合わせを行います。

ソーラーラントんを作ろう

OVERVIEW / 概要

〇×クイズやソーラーラントんを作りながら、再生可能エネルギーの理解と自然エネルギー体験により、知識を深めます。

対象者・参考教科

小学校1～3年

小学校4～6年

参考教科等：---



Photo

Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

REQUIREMENT / 実施条件

● STEP 01. 導入

- ・〇×クイズで地球温暖化を知り、SDG sを意識し、その対策のひとつとして再生可能エネルギーの利用を理解します。

実施場所

座学(対面)

所要時間

45分（講義15、実習30）

● STEP 02. 発展

- ・ソーラーラントんを作成しながら、私たちの身近な太陽光発電の仕組みを理解します。

対応人数

30人程度（1グループ4～6人で5グループ程度）

準備物等

パソコン、スクリーン、プロジェクター、工作机、椅子、ハサミ、テープ等（備考欄に詳細記載）

● STEP 03. まとめ

- ・再生可能エネルギーを楽しく学び、作成したソーラーラントんを身近なところで活用しましょう。

NOTES / 備考

以下のものについて、学校側で参加人数分の御準備をしていただく必要があります。

- ① ガーデン用ソーラーライト
- ② ペットボトル（ソーラーライトが完全に中に入らないように、上部を切ったもの。）
- ③ 飾り付け用のシール、テープ、セロファン（透明なもの、透けるもの）アシスタントが必要です。

使った後の食用油でも地球温暖化防止ができる？ ～みんなができること～

OVERVIEW / 概要

エネルギーや資源の大切さ、地球温暖化について一緒に考えます。出前講座の場合、前半40分は教室で講義、後半は校庭にて使用済み食用油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料で走るゴーカートの試乗体験を行います。後日、千田清掃のバイオディーゼル燃料製造工場見学も対応可能です。

対象者・参考教科

小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：総合的な学習 理科



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

地球温暖化が進行している現状と原因について考えます。それには化石燃料が関係していることに気づきます。

● STEP 02. 発展

化石燃料に代わるエネルギーとして、自然エネルギーや再生可能エネルギーが存在していることを学びます。

● STEP 03. まとめ

使用済み食用油をリサイクルすることや、使わない電気を消すことなどの小さな行動が、地球を守る大きな力になっていくことを学びます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)、野外活動、現地見学
所要時間	90分（講義40分、試乗50分）
対応人数	40人程度
準備物等	スクリーン、プロジェクター、マイクセット、三角コーン

NOTES / 備考

対応期間：4～6月、9～11月

当日強い雨が予想される場合は、ゴーカート試乗体験で校庭が使用できませんので、前日までに御連絡を頂ければ、日程変更の対応可能です。

エコキャンドルづくり

OVERVIEW / 概要

結婚式場などの使用済みキャンドルを使ってリメイクキャンドルを作ります。ろうが固まるまでの時間にエコ講座をします。カラフルなキューブと各コップを使用し楽しく作れます。

対象者・参考教科

小学校1～3年 小学校4～6年

参考教科等：総合学習、学年PTA行事で好評です



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

結婚式場の使用済みキャンドルでリメイクキャンドルを作ります。

● STEP 02. 発展

ろうが固まる間に「2100年未来の天気予報」や映像ツールを用いながら地球温暖化について学びます。

● STEP 03. まとめ

リメイクキャンドルなど3R(リユース・リサイクル・リデュース)が地球温暖化防止のために大切であることを学びます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)
所要時間	90分、可能であれば半日～1日
対応人数	25人程度。人数が多い場合は、班分割、時間分割
準備物等	プロジェクター、スクリーン、マイクセット(PC講師持参) はさみ・マジック・新聞紙・ごみ袋・ガムテープ他事前連絡

NOTES / 備考

材料費1人300円。親子でつくことも可能な講座です。(保護者200円)

実施場所：工作室、理科室、家庭科室等。

ろう材料荷物が多いため、1階を希望。2階以上はエレベーターなど荷物運搬協力をお願いします。ろうを溶かすなどの準備のため1時間前に会場入りします。

★換気のため窓を開けます。 ★人数多数の場合アシスタント1名つきます。

地球温暖化とわたしたちの暮らし

OVERVIEW / 概要

地球温暖化について最新の情報をもとに映像やクイズ等で学び、わたしたちが身近にできることを学んでいきます。

対象者・参考教科

小学校4～6年 中高生

参考教科等：小5～6年：理科・社会科、中学校：歴史、総合的な学習に関わる内容です。



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

地球温暖化とは？何度上昇したことを地球温暖化といっているのだろう？などをクイズで考えながら地球温暖化への関心を導きます。

● STEP 02. 発展

「地球温暖化のしくみ」の映像・ツールを用いながら、私たちの暮らしとの関連性を解き明かしていきます。

● STEP 03. まとめ

地球温暖化のために私たちは何をすべきか？なにができるのか？考えまとめます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)
所要時間	45～90分(応相談)
対応人数	制限なし
準備物等	プロジェクター、スクリーン、マイクセット(PC講師持参)

NOTES / 備考

小学生(45～60分)学年・地域に応じたお話を展開し身近に考えることができるように努めています。
中学生(90分)後半にグループで地球温暖化防止のためにできることをまとめるワークショップを行います。

野菜ソムリエproが伝える 地球温暖化のお話【デコ活(省エネ)で暮らしをリフレッシュ】

OVERVIEW / 概要

・地球温暖化について最新の情報をもとに映像やクイズ等で学び、わたしたちが身近にできることを具体的に学んでいきます。

対象者・参考教科

大人

参考教科等：省エネ性能カタログ 環境家計簿 食の省エネ他



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

地球温暖化とは？何度上昇したことを地球温暖化といっているのだろうか？などをクイズで考えながら地球温暖化への関心を導きます。

● STEP 02. 発展

「地球温暖化のしくみ」の映像を用いながら、私たちの暮らしとの関連性を解き明かします。暮らしの質をより高く、そして楽しくデコ活(省エネ)のコツを食・環境家計簿・色の知識・省エネ性能カタログの見方等さまざまな知識をお伝えしながら提案していきます。

● STEP 03. まとめ

地球温暖化のために私たちは何をすべきか？なにができるのか？考えまとめます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所 座学(対面)

所要時間 90分(応相談)

対応人数 制限なし

準備物等 プロジェクター、スクリーン、マイクセット(PC講師持参)

NOTES / 備考

配布資料あり。事前に送りますので印刷をお願いします。

★省エネ性能カタログ抜粋5ページ

★レジメ・デコ活レシピ

海辺の生き物解説と海の温暖化のお話し

OVERVIEW / 概要

魚類、棘皮動物、貝類など、海のさまざまな生き物の写真をもとに、その不思議な生態をレクチャーし、最近の海水温上昇で海の環境・生態系が大きく変化して懸念される状況になっていることを学びます。

中高生や大人にも、内容を対象に合わせて実施します。

対象者・参考教科

小学校1～3年

小学校4～6年

中高生

大人

参考教科等：---



Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

・海の生き物に関する問題で知っていることがあるかたずねる。既有知識の確認。

● STEP 02. 発展

・写真による海の生き物の生態レクチャー。・変わってきた海の生き物写真による海の温暖化レクチャー。

● STEP 03. まとめ

・海的环境変化で何が懸念されるのかを学び、どうしていけばいいかディスカッションする。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)、リモート(Web等)
所要時間	60～90分
対応人数	1クラス40人程度(相談可)
準備物等	スクリーン、プロジェクター

NOTES / 備考

- ・対応期間：年中可
- ・場所：教室/こちらで実施場所の手配も可(その際は借室代が発生します)
- ・持ち物：筆記用具
- *実施場所までの移動手段は各自で手配願います。

OVERVIEW / 概要

ヤマト運輸による、小学生向けの出前講座です。5年生、6年生の理科や社会科、総合的な学習に関わる内容です。環境の取り組みをクイズ形式で教え、ワークシートを活用したグループワークを行い、こどもたちにもできる環境の取り組みを考えてもらう授業を行います。

対象者・参考教科

小学校4～6年

参考教科等：小5・6年生：理科・社会科、総合的な学習



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

動画（宅急便が届くまで）、世界の危機的な状況、ヤマトグループの環境への取り組みをクイズ形式でやさしく学びます。

● STEP 02. 発展

日本、宮城県、家庭の取組事例を紹介し、改善活動へのヒントにつなげます。

● STEP 03. まとめ

自分たちが今できる改善事例を考え、今後の行動につなげます。

REQUIREMENT / 実施要件

実施場所	座学(対面)
所要時間	45分
対応人数	40人程度
準備物等	テレビ、またはプロジェクター（スクリーン）、HDMI ケーブル 端子

NOTES / 備考

参加児童全員にクロネコヤマトオリジナルグッズをプレゼント。
クロネコ・シロネコのキャラクター着ぐるみが演出補助（予定）。
繁忙期間中（7月、12月）、交通安全運動中（4月上旬、9月下旬）は開催が難しい場合があります。

ユーラス石巻ウインドファーム見学会

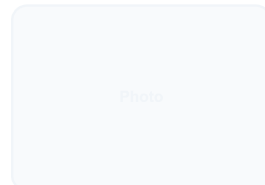
OVERVIEW / 講座の概要

風力発電の仕組みや再生可能エネルギーの必要性、その役割について、実際の風車を見学しながら学びます。併せて、発電事業と地域との関わりや、地域における取組等についても紹介します。

対象者・参考教科

小学校1～3年 小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：



COURSE FLOW / 講座の流れ

- STEP 01. 導入
集合場所から見学場所（風車設置場所）までの移動（往復20分程度）
- STEP 02. 発展
職員による説明を含めた現地見学（40分程度）
- STEP 03. まとめ

REQUIREMENT / 実施要件

実施場所	現地見学
所要時間	60分
対応人数	最大40人
準備物等	筆記用具、歩きやすい服装、プロジェクター

NOTES / 備考

対応期間：4月～10月 平日（9時～16時）のみ

※天候・施設の保守管理の都合等により、ご希望の日程で対応できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・見学のご希望日の4週間以上前にご相談願います。
- ・集合場所までの移動を含め、見学に伴う移動手段は各自で手配願います。
- ・集合場所から見学場所までは、細い山道を約10分程度移動しますので、マイクロバス等の車両を手配願います。

水素エネルギー出前講座

OVERVIEW / 概要

水素社会の実現に寄与する人材の育成を目的とした、次世代を担う若者世代に水素エネルギーに関する知識を深めてもらう講座です。

対象者・参考教科

中高生

参考教科等：---



Photo

Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

水素や水素エネルギーについての基礎知識、利活用の現状、大学の研究内容について講義を行います。

● STEP 02. 発展

● STEP 03. まとめ

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)
所要時間	60～90分
対応人数	制限なし
準備物等	スクリーン、プロジェクター

NOTES / 備考

所要時間は目安であり変更可能です。

「プチプチ®」でリサイクルを学ぼう！

OVERVIEW / 概要

環境問題に対して、身近なプチプチ®を題材に考えます。地球温暖化の原因、リサイクルの重要性を考え、児童のリサイクルに対する行動変容を目指します。

対象者

小学校4～6年

参考教科等：---



Photo

Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

Step 01. 導入

＜プチプチの紹介＞ 防災時や災害時のプチプチ活用術を含めながら、クイズ形式でプチプチを紹介します。

Step 02. 発展

＜環境問題とリサイクルについて＞ リサイクルをすることができるプチプチを通して、環境問題とリサイクルを考えます。

Step 03. まとめ

＜レクリエーション＞ プチプチに触れて遊びながら、リサイクルで重要な「減容」を学びます。

Notes / 備考

事前に授業内容についてのお打ち合わせをオンラインまたはお電話にて実施いたします。
児童への環境教育の一環として、持続可能な行動を実践できる場を提供するため、授業終了後にプチプチリサイクルボックスの設置を推奨しています。

対応期間：通年

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)
所要時間	45～60分(授業 1 コマ分)
対応人数	30人程度(1クラス単位) (体育館の場合は学年対応可)
準備物等	モニターやプロジェクターとパソコンに接続可能なケーブル(PCは講師持参)

3Rの現状から私たちの分別の価値について考える

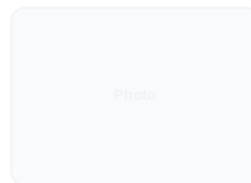
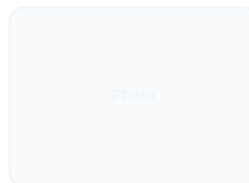
OVERVIEW / 概要

廃棄物処理事業場から見た3Rの実情について確認し、私たちがやるべき分別活動の価値について考えます。宮城県内の事例があればできるだけ活用します。SDGsと私たちがやるべきことの一緒に考えます。

対象者・参考教科

小学校1～3年 小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：---



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

廃棄物による問題、進行状況、発生している現象について、写真やグラフを使って理解を深め、課題を明確にします。

● STEP 02. 発展

日本、宮城県、家庭の取組事例を紹介し、改善活動へのヒントにつなげます。

● STEP 03. まとめ

自分たちが今できる改善事例を考え、今後の行動につなげます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所

座学(対面)、リモート(Web等)、
現地見学

所要時間

45分

対応人数

制限なし

準備物等

パソコン、スクリーン、プロジェクター又はテレビ、マイクセット等

NOTES / 備考

- ・対象年齢に応じて、講義資料を作成します。
- ・事前に学校で内容について打ち合わせを行います。

食品ロスの現状から私たちの食のありかたについて考える

OVERVIEW / 概要

エコフィードによる食品ロス循環事例（廃食品の活用等）や食品残さのエネルギー化事例などから見る食品の大切さの確認と私たちがやるべきことについて考えます。宮城県内の事例があればできるだけ活用します。SDGsと私たちがやるべきことの一緒に考えます。

対象者・参考教科

小学校1～3年 小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：---



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

食品ロスによる問題、進行状況、発生している現象について、写真やグラフを使って理解を深め、課題を明確にします。

● STEP 02. 発展

日本、宮城県の取組事例を紹介し、改善活動へのヒントにつなげます。

● STEP 03. まとめ

自分たちが今できる改善事例を考え、今後の行動につなげます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所

座学(対面)、リモート(Web等)、
現地見学

所要時間

45分程度

対応人数

制限なし

準備物等

パソコン、スクリーン、プロジェクター又はテレビ、マイクセット等

NOTES / 備考

- ・条件が合えば、再資源化処理現場の見学（30分）も可能。
- ・事前に学校で内容について打ち合わせを行います。

海のごみ問題(特にプラスチック)について考える

登米市環境教育リーダー／特定非営利活動法人海の自然史研究所
チーフエデュケーター／元川と海のビジターセンター長

OVERVIEW / 概要

大きな環境問題となっている海洋プラスチックごみについて、その現状と何が問題なのか、原因は何かを学び、どうやって解決していくのかを議論します。

中高生や大人にも、内容を対象に合わせて実施します。

野外でのビーチクリーン活動と組み合わせて実施することをお勧めします(ゴミ処理要相談)。

対象者・参考教科

小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：小学4年生社会科「ごみの処理と利用」小学5年生社会科「わたしたちの生活と環境」



Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

- STEP 01. 導入
 - ・さまざまな海岸の写真を見て、海の現状を認識する。
- STEP 02. 発展
 - ・教室内でビーチクリーンの模擬体験をする。・海洋ごみのどこが問題なのか、それが自分たちや社会にどう影響するのかを認識する。
- STEP 03. まとめ
 - ・プラスチックごみ問題解決の方向性をディスカッションする。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)、現地見学
所要時間	60～90分
対応人数	1クラス40人程度(相談可)
準備物等	パソコン、スクリーン、プロジェクター又はテレビ、マイクセット等

NOTES / 備考

- 対応期間：年中可
- 場所：教室/こちらで実施場所の手配も可(その際は借室代が発生します)
- 持ち物：筆記用具
- 服装：動きやすい服装
- *実施場所までの移動手段は各自で手配願います。

「生ゴミ」は本当にゴミなのか！？ ～資源の大切さと循環を考える～

OVERVIEW / 概要

- ・南三陸町バイオガス施設「南三陸BIO（ビオ）」の見学
- ・ワークショップ活動を含めた資源循環理解についての講話

小学校1～3年

小学校4～6年

中高生

大人

参考教科等:

COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

◇自己紹介

- ・今日のテーマについて説明する。

◇グループ活動「分け分けワークショップ」

- ・いくつかのワードが書かれたカードを分類する。
- ・「なにかに使っているもの」「なにかに使えそうなもの」「使えそうにないもの」を発表し共有する。

→うち数個について取り上げ、掘り下げる。「本当にそうだろうか？」

● STEP 02. 発展

◇南三陸町の取り組み紹介

- ・身の周りの様々な「資源」の存在に気付かせる。
- ・例えば生ゴミも資源として再利用できる。

→「使えそうにないもの」もまだ使えるかもしれない。

◇「南三陸BIO」の見学

- ・施設の案内
- ・南三陸のバイオガス施設を見学する。
- ・生ゴミがエネルギーと液肥に変わる様子を見る。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所

座学(対面)、野外活動

所要時間

90分

対応人数

40人程度 (40人を超える場合は要相談)

準備物等

児童：工場の見学等もあるので動きやすい服装
教師：特になし
※リモートの場合は、オンライン会議ができる環境

◇活動の感想を発表させる。

- ・キーコンセプトへ誘導する。

[key①] 使えるものがたくさんあるね

[key②] 再利用できるものがあるね

[key③] 未利用のものもあるね

◇考えを深めさせる。

→「ほかにはどんなものがあるだろうか？」

◇用語や概念の説明を行う。

- ・ひとのくらしや活動・仕事などに使えるものを“資源”という。

資源は私たちの周りにたくさん溢れている。

- ・資源の中にはくりかえし利活用できるものがある。くりかえし巡り巡ることを“循環”という。

いろいろなものが循環する社会をつくれたら素晴らしい事である。

NOTES / 備考

対応期間：通年

実施地域：南三陸町

- ・工場見学では、安全に十分留意すること

- ・事前にゴミ処理やリサイクル等について学習済みだと理解が深まる。

- ・「資源」という単語に触れられているとなお良い。

- ・事後授業として、「ほかに循環資源として利活用できそうなものはなにがあるか」や「自分の地域でできる循環のスタイル」などについて、学びを発展させられると良い。

みやぎエコ・エデュケーション・プログラム(MEEP)環境出前講座

MIYAGI PREFECTURAL
GOVERNMENT



海ごみ環境教育学習

OVERVIEW / 講座の概要

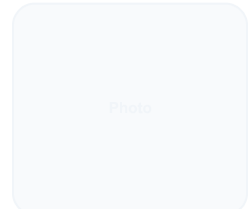
海ごみが沿岸部の問題だけではなく、宮城全体また、日本を含めた世界共通の問題であることを理解するとともに、環境問題と自分たちの生活との関りを知り、自分には何ができるかを考えるきっかけを作ります。

対象者・参考教科

小学校1～3年

小学校4～6年

参考教科等：



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

写真やクイズ、海岸清掃でのエピソードなどを交えながら、海ごみの現状や生き物への影響を楽しく学び、自然と「もっと知りたい」という気持ちを引き出します。

● STEP 02. 発展

講師の問いかけに対して児童が積極的に意見を出し合いながら、「自分たちにできることって何だろう」と考える探究の時間にします。

● STEP 03. まとめ

学んだことを振り返り、児童ひとりひとりが「今日からできる小さなアクション」を見つけ、海を守る未来へ繋がる一歩を踏み出します。

REQUIREMENT / 実施要件

実施場所	座学(対面)、リモート(Web等)
所要時間	45分
対応人数	40人程度
準備物等	パソコン、スクリーン、プロジェクター（モニターでも可） ※パソコンに外部USBメモリを接続できない場合は要相談 講師の選定においては、指名がなければ学校がある地域に近い団体から、有識者を派遣いたします。

南極とSDGs

OVERVIEW / 概要

南極の自然環境や観測隊の活動を、講師が撮影した写真など使って紹介。

また、環境に配慮しながら限られた物質で暮らす観測隊の生活から「持続可能な暮らし」とは何かを考える。

対象者・参考教科

小学校4～6年

大人

中高生

小学校1～3年

参考教科等：---



Photo

Photo

COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

南極がどんなところか、自然環境や生きものなど解説。南極条約の下、各国が協力して観測を行っていることを紹介。気候変動の影響や気候システムにおける南極の役割にも言及。

● STEP 02. 発展

南極で観測隊がどんな暮らしをしているのか、何のために南極で観測しているのか説明。それらが自分たちの暮らしとどう関係しているのかについて考える。

● STEP 03. まとめ

なにもない南極で暮らすのに必要なものは、「持続可能な」暮らしに必要なものだった。南極の自然や暮らしをヒントに「持続可能な」暮らしを学ぶ。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)
所要時間	90分
対応人数	100人程度
準備物等	プロジェクター、スクリーンまたは大型モニター

NOTES / 備考

話の内容はアレンジ可能。

国がなくなる？！ ～キリバス共和国と地球温暖化～

OVERVIEW / 概要

中央太平洋のキリバス共和国は、地球温暖化・気候変動の影響により、存亡の危機に立たされています。授業では、キリバスの人々の生活や、意外と深い日本との関係、地球温暖化・気候変動がキリバスに影響を与えている事例に触れながら、グローバルな視点で私たちの「当たり前」を問い直し、自分で考え、夢や志をもって行動することの大切さを、ユーモアあふれる表現で伝えます。地球環境問題の解決に留まらず、同国に帰化した史上初の日系キリバス人1世として自身の経験をもとに国際理解や志教育などにも対応しています。

講師は、第1回宮城県ストップ温暖化賞大賞、令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰の受賞者です。

小学校4～6年 参考教科等: 4年生社会科「ごみの処理と利用」、5年生社会科「わたしたちの生活と環境」、6年生社会科「世界の未来と日本の役割」

COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

自己紹介と、人々の生活や日本と意外に深い関係を持つキリバスの紹介を軸に、好奇心・志を持つ大切さ、違う価値観を認め合うこと、地産地消、フードロスなどについて触れます。

● STEP 02. 発展

地球温暖化・気候変動の原因と、キリバスで起こっている事例を紹介し、世界や宮城県内での例、また海洋プラスチックごみの問題にも触れ、他人事ではないことを伝えます。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)
所要時間	90分
対応人数	制限なし
準備物等	PC, プロジェクター、スクリーン、スピーカー、マイクセット

NOTES / 備考

対象学年: 小学校3～6年生
講師の都合により日程が限定的になる場合もありますので、第5希望までを申込書に記載してください。

● STEP 03. まとめ

SDGsの紹介、『グローバルに考え、ローカルに活動すること』、そして『愛の反対は無知と無関心』であることを伝え、自分で考え行動に移すきっかけとします。

みやぎエコ・エデュケーション・プログラム(MEEP)環境出前講座

MIYAGI PREFECTURAL
GOVERNMENT



外国のECOなまちづくり

OVERVIEW / 概要

外国のまちを歩きながら出会った事例について写真で紹介し
ます。それらを見ながら自らの視野を広めつつ、一方では自分たち
の住むまちや環境はどうあるべきか、について考えるきっかけと
します。

対象者・参考教科

小学校4～6年 中高生

参考教科等：社会、総合



COURSE FLOW / 講座の流れ

REQUIREMENT / 実施条件

● STEP 01. 導入

地球温暖化を例に環境問題の現状と「私たちが身近でできること
(5R*)」を説明します。*5RとはReduce、Reuse、Recycleに
加え、講師が推奨するRefine（洗練・長寿命のものづくり）、
Reaction（行動・活動）です。

● STEP 02. 発展

導入を受け、外国ではどのようなことをしているのか、映像を投影
しながら説明します。クイズやうら話を交えながら楽しく進めま
す。

● STEP 03. まとめ

質疑応答をととして「私たちが身近でできること」について考えま
す。

実施場所	座学(対面)、リモート(Web等)
所要時間	45分
対応人数	制限なし
準備物等	プロジェクターとスクリーン、ある いは大型モニター

NOTES / 備考

- ・地域や時期は応相談ですが、大学での授業の関係上、遠方での実施が難しい時もあります。
- ・暗幕などで暗くできる教室、大型モニターがある教室などを推奨します。

日本人がいっぱい食べると 世界の 水が悪くなる？

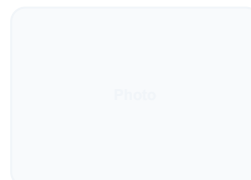
OVERVIEW / 概要

世界の水問題が日本の食生活と密接につながっているということを、モロッコ（青年海外協力隊での派遣経験あり）などの諸外国を例に日本の役割や生活のあり方を考えてもらいます。国際理解教育とも関連します。

対象者・参考教科

小学校4～6年 中高生 大人

参考教科等：6年生 社会科「世界の中の日本」



COURSE FLOW / 講座の流れ

● STEP 01. 導入

青年海外協力隊の体験を紹介するほか、日本から遠く離れたモロッコの水産物が日本の食卓と深くつながっていること（相互依存）に気づきます。

● STEP 02. 発展

統計資料等を利用して、地球温暖化による世界の水資源や水質の問題（バーチャルウォーター、途上国の下水道整備や富栄養化問題、有害化学物質による生態系影響等）について、SDGsも引き合いに学びます。

● STEP 03. まとめ

世界の水問題と結びつく日本の食生活のあり方について、温故知新・身土不二・足ることを知る、をキーワードに考えます（循環型社会づくりとも関連）。

REQUIREMENT / 実施条件

実施場所	座学(対面)、リモート(Web等)
所要時間	45分
対応人数	30～60人程度
準備物等	ホワイトボード、ペン、プロジェクター・スクリーンまたはモニター

NOTES / 備考

講師の都合により日程が限定的になる場合もありますので、複数の候補日を挙げてください。開講時刻について、仙台からの移動時間を配慮してください。